

## 再評価結果（平成23年度事業継続箇所）

担当課：道路局国道・防災課

担当課長名：三浦 真紀

事業名	国道414号 伊豆縦貫自動車道 天城北道路	事業区分	一般国道	事業主体	国土交通省 中部地方整備局																			
起終点	自：静岡県伊豆市修善寺 至：静岡県伊豆市矢熊	延長	6.7 km																					
事業概要	<p>伊豆縦貫自動車道は静岡県沼津市を起点とし、伊豆の国市、伊豆市等の主要都市を経て下田市に至る延長約60 kmの南北軸の交通を担う主要幹線道路です。</p> <p>本事業の国道414号天城北道路は、伊豆市修善寺を起点とし、伊豆市矢熊に至る延長6.7 kmの自動車専用道路で、①交通渋滞の緩和、②緊急輸送路の機能強化の2点を主な目的として事業を推進しています。</p>																							
H6年度事業化	都市計画決定	—	H12年度用地着手	H14年度工事着手																				
全体事業費	570億円	事業進捗率	約21%	供用済延長	1.6 km																			
計画交通量	11,600～14,600台/日																							
費用対効果分析結果	<table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 50%; border-right: 1px solid black;"> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="border-bottom: 1px solid black;">B/C (事業全体)</td> <td style="text-align: center;">1.3</td> </tr> <tr> <td>(残事業)</td> <td style="text-align: center;">1.2</td> </tr> </table> </td> <td style="width: 50%;"> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="border-bottom: 1px solid black;">総費用 (残事業)/(事業全体)</td> <td style="text-align: center;">368/513億円</td> </tr> <tr> <td>事業費</td> <td style="text-align: center;">338/483億円</td> </tr> <tr> <td>維持管理費</td> <td style="text-align: center;">30/30億円</td> </tr> </table> </td> </tr> <tr> <td style="border-right: 1px solid black;">総便益 (残事業)/(事業全体)</td> <td style="text-align: center;">447/657億円</td> </tr> <tr> <td>走行時間短縮便益</td> <td style="text-align: center;">413/611億円</td> </tr> <tr> <td>走行費用減少便益</td> <td style="text-align: center;">27/40億円</td> </tr> <tr> <td>交通事故減少便益</td> <td style="text-align: center;">6.8/5.2億円</td> </tr> </table>	<table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="border-bottom: 1px solid black;">B/C (事業全体)</td> <td style="text-align: center;">1.3</td> </tr> <tr> <td>(残事業)</td> <td style="text-align: center;">1.2</td> </tr> </table>	B/C (事業全体)	1.3	(残事業)	1.2	<table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="border-bottom: 1px solid black;">総費用 (残事業)/(事業全体)</td> <td style="text-align: center;">368/513億円</td> </tr> <tr> <td>事業費</td> <td style="text-align: center;">338/483億円</td> </tr> <tr> <td>維持管理費</td> <td style="text-align: center;">30/30億円</td> </tr> </table>	総費用 (残事業)/(事業全体)	368/513億円	事業費	338/483億円	維持管理費	30/30億円	総便益 (残事業)/(事業全体)	447/657億円	走行時間短縮便益	413/611億円	走行費用減少便益	27/40億円	交通事故減少便益	6.8/5.2億円	基準年	平成22年	
<table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="border-bottom: 1px solid black;">B/C (事業全体)</td> <td style="text-align: center;">1.3</td> </tr> <tr> <td>(残事業)</td> <td style="text-align: center;">1.2</td> </tr> </table>	B/C (事業全体)	1.3	(残事業)	1.2	<table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="border-bottom: 1px solid black;">総費用 (残事業)/(事業全体)</td> <td style="text-align: center;">368/513億円</td> </tr> <tr> <td>事業費</td> <td style="text-align: center;">338/483億円</td> </tr> <tr> <td>維持管理費</td> <td style="text-align: center;">30/30億円</td> </tr> </table>	総費用 (残事業)/(事業全体)	368/513億円	事業費	338/483億円	維持管理費	30/30億円													
B/C (事業全体)	1.3																							
(残事業)	1.2																							
総費用 (残事業)/(事業全体)	368/513億円																							
事業費	338/483億円																							
維持管理費	30/30億円																							
総便益 (残事業)/(事業全体)	447/657億円																							
走行時間短縮便益	413/611億円																							
走行費用減少便益	27/40億円																							
交通事故減少便益	6.8/5.2億円																							
感度分析の結果	残事業について感度分析を実施																							
交通量変動	: B/C=1.1 (交通量-10%) B/C=1.3 (交通量+10%)																							
事業費変動	: B/C=1.1 (事業費+10%) B/C=1.3 (事業費-10%)																							
事業期間変動	: B/C=1.1 (事業期間+20%) B/C=1.3 (事業期間-20%)																							
事業の効果等	<p>①円滑なモビリティの確保</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・現道等の年間渋滞損失時間の削減が見込まれる。</li> <li>・当該路線の整備により利便性の向上が期待できるバス路線（東海バス：修善寺駅～堂ヶ島・湯ヶ島温泉・昭和の森・河津駅・ラフォーレ修善寺）等が存在する。</li> <li>・特急停車駅（修善寺駅）へのアクセス向上が見込まれる。</li> </ul> <p>②国土・地域ネットワークの構築</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・拠点都市間（伊豆市、伊豆の国市）を高規格幹線道路で連絡するルートを構成する。</li> <li>・日常活動圏の中心都市（旧修善寺町～旧天城湯ヶ島町）へのアクセス向上が見込まれる。</li> </ul> <p>③個性ある地域の形成</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・伊豆半島の主要な観光地へのアクセス向上が期待される。</li> </ul> <p>④安全で安心できるくらしの確保</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・湯ヶ島地区から伊豆の国市長岡の順天堂大学医学部附属静岡病院（三次医療施設）へのアクセスが向上が見込まれる。</li> </ul> <p>⑤災害への備え</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・静岡県地域防災計画（平成21年8月修正）において、国道136号、414号が第一次緊急輸送路に位置付けられている。</li> <li>・緊急輸送道路（国道136号・414号（現道））が通行止になった場合に大幅な迂回を強いられる区間の代替路線を形成する。</li> </ul> <p>⑥地球環境の保全</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・CO2排出量の削減が見込まれる。</li> </ul> <p>⑦生活環境の改善・保全</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・NO2排出量の削減が見込まれる。</li> <li>・SPM排出量の削減が見込まれる。</li> </ul> <p>⑧他のプロジェクトとの関係</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・関連する大規模道路事業と一体的に整備する必要ある【伊豆縦貫自動車道】</li> </ul>																							

関係する地方公共団体等の意見

・天城北道路は、地域交流の促進、交通渋滞の緩和等に重要な役割を果たすことが期待されており、伊豆市で構成される「天城北道路及び伊豆市幹線道路網整備促進期成同盟会」より早期整備の要望を受けている。【平成21年11月】

静岡県の意見

本事業は、中伊豆地域の渋滞緩和や安心・安全な生活環境の確保を図るとともに、伊豆地域の主要産業である観光支援に資する重要な事業です。

今後も、コスト縮減の徹底とともに、効果が早期に発現されるよう事業の推進をお願いします。また、各年度の実施に当たっては、引き続き県と十分な調整をお願いします。

事業評価監視委員会の意見

「事業継続」することは「妥当」である。

事業採択時より再評価実施時までの周辺環境変化等

・国道136号・414号が重複する区間では3箇所の渋滞ポイントが存在し、休日を中心に渋滞が発生。  
・天城北道路周辺の幹線道路は、地理的条件から災害に弱く、道路状況は脆弱。

事業の進捗状況、残事業の内容等

・平成20年4月、修善寺IC～大平IC供用済み  
・大平IC～天城湯ヶ島IC（仮称）について、本線工事着工に向けて工事用道路を整備中。

事業の進捗が順調でない理由、今後の事業の見通し等

・大平IC～天城湯ヶ島IC（仮称）の暫定2車線の早期供用を目指す。

施設の構造や工法の変更等

・大型ブロック擁壁の採用等によりコスト縮減を図る予定である。

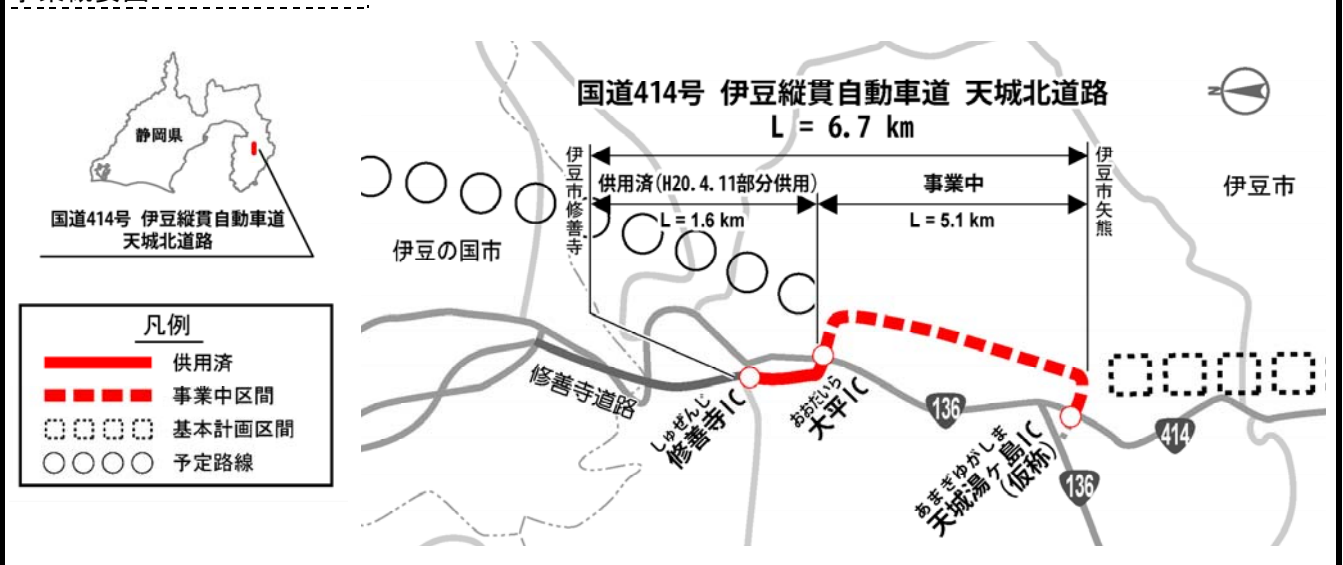
対応方針

事業継続

対応方針決定の理由

以上の点を勘案し、当初からの事業の必要性、重要性は変わらないと考えられる。

事業概要図



※ 総費用、総便益とその内訳は、各年次の価額を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したもの。

※ 総費用及び総便益の値は、表示桁数の関係で内訳の合計と一致しないことがある。